

## アプリケーションカタログ

### 酸度・塩分 (2nd method: 塩分)

関連業界	:	-
使用装置	:	電位差自動滴定装置
測定手法	:	電位差滴定法/中和滴定
関連規格	:	-

#### 1. 概要

コンバイン滴定とは、一検体で、2種類以上の滴定を同時に行う滴定方法のことである。ここでは2%-クエン酸と5%-NaClの混合溶液を用いて、1st methodにより酸度を2nd methodにより塩分濃度を測定した。酸度は、終点までの0.1mol/L-水酸化ナトリウムの滴定量をクエン酸に換算しており、塩分濃度は0.1mol/L-硝酸銀の滴定量を、塩化ナトリウムに換算してそれぞれ求めた。1st methodの滴定パラメータはNo. TIF-99300を参照のこと。

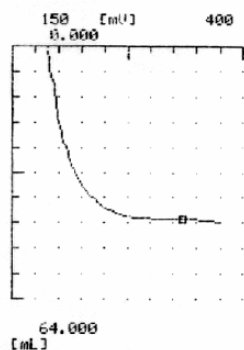
#### 2. 装置構成

本体	:	電位差自動滴定装置 (プリアンプリファイア: STD)
検出器	:	ダブルジャンクション形, 複合ガラス電極, 銀電極 M-214 温度補償電極

#### 3. 試薬

滴定液	:	0.1mol/L-水酸化ナトリウム, 0.1mol/L-硝酸銀
添加用	:	3mol/L-硝酸

#### 4. 測定例



—滴定曲線—

—測定結果—

	Sample (mL)	titer (mL)	Conc. (%)
1	5.0	43.8655	43.8655
2	5.0	44.0647	44.0647
3	5.0	43.9868	43.9868
平均			5.1395
偏差			0.0117
RSD (%)			0.22

詳細は、下記までお気軽にお問い合わせください。

<問い合わせ先> 京都電子工業株式会社

<http://www.kyoto-kem.com/ja/contact/form.php>